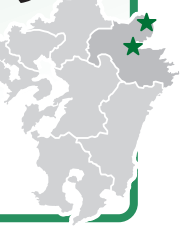


# 別府市の災害対策と 国東市の町づくり

## 総務経済常任委員会研修視察報告



### 日程

10月3日～5日

### 参加者

- 委員長 藤井廣明
- 副委員長 稲葉義仁
- 委員 西塚孝男
- 委員 内山慎一
- 委員 鈴木 勉

### ●大分県別府市 〔被害状況と災害対策〕

#### 1 市の概要

別府市は、大分県のほぼ中央に位置する。東側は瀬戸内海に面し、西側に湯布院温泉がある由布市、南側は大分市と隣接、北側は国東半島と接している。人口約12万人。東西13キロ、南北14キロのコンパクトな温泉都市である。

#### 3 災害復旧と今後の対策

住宅再建支援金、見舞金の支給。プレミアム20%食うぽん券、住宅全壊で500万円の復興建設券の発行。災害時の観光客、外国人、障害者の避難は普段の連携が重要となる。避難所運営は、避難者自身にも参加、活動

# 唐津市市街地の活性化と 熊本の被害状況

## 文教厚生常任委員会研修視察報告



### 日程

10月3日～6日

### 参加者

- 委員長 飯田桂司
- 副委員長 笠井政明
- 委員 栗原京子
- 委員 村木 脩
- 委員 森田禮治
- 委員 定居利子

### ●佐賀県唐津市〔商工会 議所が行うまちづくり〕

#### 1 市の概要

2005年近隣の呼子町、鎮西町、肥前町、厳木町、相知町、浜玉町、北波多村と新設合併。2006年に七山村を編入して人口13万人となった。唐津市から、近隣の福岡都市圏、佐賀都市圏に通勤、通学する市民が多い。一次産業は、米、野菜、肉

用牛が主な生産物。二次産業は、製造業、建設業が中心。三次産業は、商業、観光業が中心となっている。

**2 唐津市の地域振興・まちづくり〔唐津市中心市街地活性化基本計画とアクションプラン策定概要〕**

平成28年3月15日、国から唐津市中心市街地活性化基本計画(新計画)の認定を受け、平成28年度から平成32年度までの5年間、計画に掲げた中心市街地の活性化等を推進することとなった。この基本計画には、民間が実施する事業も含まれ、唐津市地方創生に向けた取り組みとしてアクションプランの策定を行い、活

して貰う。避難所や車中泊者の巡回相談、心の相談会や子供のメンタルケアが重要など今回の災害対策での課題を検証していく。

### ●大分県国東市〔空き家バンクと町づくり〕

#### 1 市の概要

国東市は大分県国東半島の東半分を占め、大分空港がある。平成18年に国見町、国東町、武蔵町、

安岐町が合併して誕生した。人口約2万9千人。

**2 空き家バンク制度**

平成22年度より実施、これまで96世帯、221人が国東市に移住してきた。現在の登録数は240件。空き家改修や引っ越しに補助金を支給。登録は65歳まで。他に150万円限度の「マイホーム新築・購入応援」補助制度がある。

**3 町づくり補助金**

「町づくり公募補助金」はユニークな補助金である。5人以上の団体(うち3人は市民)で事業計画を出し、公開プレゼンテーションに臨み、副市長ら5人の審査に合格すれば補助金が支給される。成果発表会があ

**国東市空き家対策事業 (空き家バンク制度)**

国東市では、平成22年度から市内に点在する空き家を活用し、移住希望者に提供するなど移住・定住対策を行っています。現時点での空き家登録数は約240件です。

また、空き家バンク制度を利用し、国東市へ移住された方々は累計96世帯221人にのぼります。

空き家改修・引越し、家族道具送分等にかかる経費の助成制度

①空き家改修 助成額：改修に伴う対象経費(30万円以上)の1/2の額【上限50万円】

②引越・家族道具送分・契約仲介手数料 助成額：【併せて上限10万円】

空き家物件情報は、国東市ホームページから閲覧可能です！

<http://www.akiya.u-kunisaki.com/>

「町づくり公募補助金」はユニークな補助金である。5人以上の団体(うち3人は市民)で事業計画を出し、公開プレゼンテーションに臨み、副市長ら5人の審査に合格すれば補助金が支給される。成果発表会があ

### ●感想・意見

今回は、熊本地震復興支援の研修視察であった。地震発生後、直ちに災害対策本部を設置した別府市は、本部活動が完璧に機能したという。それは「誰がどこに座るか」まで決めた訓練をしていた成果だという。国東市の移住・定住策は早くから取り組み、一定の成果を上げている。ただ移住者が地域に溶け込めないなどの問題を受け、現在は余り「バラ色の話」は少ない。自発性を重んじている。各自自治体での取り組みは、大いに参考になった。

性を推進していくこととなった。

研修後、商工会議所職員の案内で市内の視察を行う。商店街、唐津銀行、唐津くんち曳山展示場の説明を受ける。唐津市役所の建て替えもあると聞く。

### ●熊本市〔熊本地震からの復興再生〕

#### 1 市の概要

人口73万人、世帯数31万世帯、面積390平方キロ 明治22年4月1日熊本市誕生 昭和20年熊本大空襲 昭和28年6月26日大水害 昭和34年熊本城天守閣再建 平成3年北部町、河内町、飽田町、天明町と合併 平成20年城南町、植木町と合併 平成23年九州新幹線鹿児島ルート全線開通 平成24年政令指定都市へ移行

**2 熊本地震の被害状況**

平成28年4月14日21時26分、前震マグニチュード6.5、最大震度7(益城町)、4月16日1時25分、本震マグニチュード7.3、最大震度7発生。14日は、市職員が市役所にて一夜を明かし一旦一時帰宅したが、16日早朝、徒歩、自転車にて集合したとのこと。研修後、ボランティアアガイドの案内で、熊本城の被害状況を見る。屋根、石垣が想像以上の崩落をしていた。その後、震源地となった益城町を視察した。

人的被害(平成28年8月29日現在)死者36人(震災関連連死30人)重傷者517人 住宅被害(平成28年8月23日現在)全壊2438棟 半壊14326棟 一部損壊83877棟 被害総額 1兆6362億円

**3 復興と再生**

5月10日、全ての市立小中学校が授業を再開。基本方針として、市民力・地域力・行政力を結集し、安全・安心な熊本市の再生に向けたプロジェクトを立ち上げ、明日を見据えた復興へと取り組んでいる。



### ●視察の感想

唐津市では商工会議所職員2名の案内で、街並みの散策を行い、対応のすばらしさ、街があるきながら地域住民との対話ができています。また、熊本市議会での研修、熊本城の視察、復興への取り組みを伺って、両市とも地方創生、再生復興に取り組む姿を感じ、大変参考となった。